

日本刺しゅう



迫力のある仏様や源氏物語など、どの作品も繊細なものがかり。

40年もの間、日本刺しゅうに関わっている田中協子さんによると、飛鳥時代からの長い歴史がある日本刺しゅう自体は難しいものではなく、1年ほどで誰でもできるようになるのだとか。見れば見るほど引き込まれる日本刺しゅうの魅力を、皆さんにぜひ知ってほしいです。

写真寺
私たちが撮影!



油絵



油絵は、自由にそれぞれが好きな風景や人物などを簡単に描くことができます。

しかし、最近では油絵に興味を持つ人が少なく、絵を描く人が減少しているそうです。向井健造さんは、定年退職した後、空いた時間に作品を作るようになり、文化祭に多くの作品を出展しています。向井さんのお話を聞いて、油絵に挑戦してみたいと思いました。最初の作品は自分の好きな絵を描いてみたいです。

華道



今回の文化祭では、池坊、池房会の二つの流派の生け花が展示してありました。作者の思いを華々しく表現した作品は、どれも魅力的。

地元の小学生によるハロウィン風の生け花は、子どもならではの自由な発想と新鮮な技法で立派に作られていて、その感性の素晴らしさに驚きました。次回は、皆さんもぜひ鑑賞してみてください。

Iyo Senior High School Report
私たち伊予高生が
文化祭の様子をお伝えします!

(左上から)
村上竜士さん、藤岡悠生さん、門屋佑奈さん、太田結梨さん、
明石侑紀さん、豊岡恋姫さん、武井心那さん、浅海凜さん

書道



藤岡千賀子(抱玉)さんは、70年以上もの間、書道を続けています。

伊予高で芸術を学ぶ私たちにとって、藤岡さんの体験談や作品の紙面構成などはとても参考になり、今後に生かしたいと思いました。これからも芸術の道を突き進んでいきたいです。



伊予高校
吹奏楽部



予定していたプログラムの前に「宝島」など3曲を演奏してくれました。本番では、全国大会で演奏した「レトロ」/シンフォニエッタ第5番「火焰の鳥」を、部員全員が一つとなり迫力ある素晴らしい演奏と感動を届けてくれました。

まさき文化祭のステージを最後に、3年生は引退。「青春の輝き」では、3年間の集大成を見せてくれました。



芸術の秋を楽しむ
第48回まさき文化祭

「第48回まさき文化祭」は10月28、29の両日、文化センターを主会場に開催されました。

文化祭では、歌や踊りなど延べ約360人が出演した芸能発表会をはじめ、生け花や絵画など約240点の作品を展示。訪れた人たちは、出品者が丹精込めて作った作品を見たり買ったりしながら芸術の秋を堪能していました。

また、28日には「福祉ふれあいフェア」が同時開催。ゲームコーナーや交通安全コーナーなどさまざまなコーナーが設けられ、たくさんの人が笑顔で楽しんでいました。



1_迫力ある義農太鼓(松前小) 2_会場に並んだ作品の数々 3_伊予高生が古着を譲渡 4_反射材作り 5_おはなしフェス 6_華やかな踊りを披露 7_各階に設置された作品をじっくり鑑賞 8_きれいな歌声が響く 9_歴史民俗資料室で歴史を学ぶ 10_息のそろう伊予万歳(岡田小) 11_力作が並ぶ



迫力ある操法で入賞した
1、4、5_第6分団 2、6_第1分団 3、7_第5分団

第6分団が第1位

第25回松前町消防操法大会

松前町消防団による「消防操法大会」は11月19日、松前公園で行われました。

審査基準は①士気・規律②迅速な行動・動作・チームワーク③確実な動作④消防用機械器具の精通とその愛護⑤各隊員の安全行動の五つです。

各分団の消防団員は、訓練の成果を発揮し、迫力ある操法を披露しました。

第1位の分団は、町の代表として、令和6年度に開催予定の愛媛県消防操法大会に出場します。

結果は次のとおり(敬称略)。

▶大会結果

- 第1位 第6分団 (横田・大溝・永田・東古泉)
- 第2位 第1分団 (南黒田・北黒田)
- 第3位 第5分団 (神崎・鶴吉)

▶各番手の優秀選手賞

- 指揮者部門 第5分団 おおぞわのりひろ 大澤雅弘
- 1番員部門 第6分団 にしかわゆづる 西川佑哉
- 2番員部門 第5分団 しいけりょうひさ 佐伯省吾
- 3番員部門 第5分団 いけのりやす 池内康彦

町内で3人が入賞

3R促進ポスターコンクール

環境省と3R活動推進フォーラム主催で「3R促進ポスターコンクール」が行われ、全国から5,312点の応募がありました。4部門それぞれで、最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点が選ばれ、町内から次の3人の作品が優秀賞、佳作に選ばれました。



▼優秀賞



松前小2年 小林美衛さん



▼佳作



北伊予小2年 河野 杏さん



▼佳作



松前小6年 木村天晴さん



大規模災害に備えて

石材構造物の移設等に関する協定

松前町と一般社団法人日本石材産業協会(森田浩介会長)は11月9日、「大規模災害発生時における石材構造物の移設等に関する協定」を締結しました。

この協定は、大規模災害が発生した場合、災害復旧活動などに支障を来す石材構造物の移設などに関する業務を迅速に行えるよう締結されたもの。

今後は、互いに連携し、大規模災害発生時の被害拡大防止を目指します。



いざという時に行動を

令和5年度恵久美総合防災訓練

恵久美自主防災会主催の「総合防災訓練」は11月5日、恵久美グラウンドで開催され、地区の住民や防災士など約170人が参加しました。この訓練は、町内で地震が発生し、家屋の倒壊や火災により電気、水道などのライフラインが寸断されたことを想定し行われたもの。

参加者は、班に分かれて、土のう作り訓練、応急手当訓練、消火訓練などを行い、自助・共助の意識や防災行動力を高めていました。



*瑞宝双光章【警察功労】
たたく・ひろのぶ
田徳 博宣さん
元県警視
73歳 筒井

田徳博宣さんに瑞宝双光章

第41回危険業務従事者叙勲

政府は11月7日付で「第41回危険業務従事者叙勲」を発表し、本町からは田徳博宣さんが受賞しました。

田徳さんは昭和45年に愛媛県警に採用されて以降、県内各地で勤務。被害者救済のため犯人逮捕を第一に考え、昼夜を問わず重大事件や事故に果敢に立ち向かい、住民の安全確保に尽力しました。

田徳さんは受賞に対し、「家庭を守りながら、支えてくれた妻に感謝している。今後は、微力ながらも警察に協力していきたい」と話していました。



伝統行事「亥の子」を体験

亥の子体験会

「亥の子体験会」は11月11日、神崎集会所で開催され、北伊予校区の親子連れなど約30人が参加しました。これは、地域福祉活動の推進を目指している小地域福祉活動計画推進委員会が、多世代交流を図るために開催したものです。

参加者は、亥の子の説明を受け、亥の子唄の練習をした後、グラウンドで亥の子を体験。初めて亥の子を体験した清水大護くんは、「とても楽しかった。またやってみよう」とほほえんでいました。





松前町の農水商工の恵みが集結 第9回松前町産業まつり「たわわ祭」

第9回松前町産業まつり「たわわ祭」は11月11、12の両日、まさき村店舗前駐車場で開催されました。

会場では、松前町の特産品を販売したほか、町内企業が誇る技術を披露。さらに、姉妹都市の北海道松前町から石山町長が来町し、海の幸などを販売しました。またステージでは、じゃんけん大会やダンスパフォーマンスなどが行われ、来場した延べ1万4,000人を楽しませました。



1_大盛況のじゃんけん大会 2_「ふるさと絶賛バラエティーよ!」(テレビ愛媛)と川崎屋のコラボ企画。じゃんけんでゲット 3_大迫力の餅つき 4・5_自慢の一品を販売。はだか麦焼きそば、はだか麦おにぎり 6_サツマイモ詰め放題。こんなにたくさん入ったよ 7_北海道まつまえ町物産展。伊予高生がお手伝い 8_ハモフライおいしいよ 9_熱のこもったステージパフォーマンス



まつまえ町の味を堪能 姉妹都市食文化体験

11月1日、町内の小中学校で、姉妹都市提携を結んでいる北海道松前町の食文化体験が行われました。

当日は、給食で豚肉のすき焼き、ほっけすり身のつくね揚げ、松前漬けの3品が提供され、どれも子どもたちに大好評。岡田小学校2年生のながきしんのすけくんは、「スルメイカが入った松前漬けがおいしかった」とほほえんでいました。

㊤提供された給食 ㊦みんなで食べる給食はおいしいね

